

【INACOME】起業者と地域課題のマッチングプログラム 実施レポート

作成日：令和3年2月17日

作成者：株式会社 Familyinn 代表 杉本朋哉

■属性

受入希望自治体：静岡県静岡市

地域課題テーマ：地域資源を活かした新たな事業の創出
(農産物の高付加価値、交流・体験ビジネスの創出)

マッチング起業者：株式会社 Familyinn 代表 杉本朋哉

■レポート内容

1. 提案概要

<テーマ>

空き部屋のあるお家に、1ヶ月以上の田舎ホームステイをして地域に溶け込むことで、現地の耕作放棄地に携わり、風景が失われる課題を解決する。

<提案内容>

空き部屋のあるお家に、1ヶ月以上の田舎ホームステイのマッチングプラットフォームサービス Familyinn(<https://familyinn.jp>)を運営しています。

民泊受け入れ経験のあるお家がホームステイ受け入れのホストとなることで、ホームステイするゲストが耕作放棄地の活用を行う提案をさせていただきました。Familyinn は旅行ではなく長期滞在の国内留学のため、利用するゲストの9割が地域おこしのような活動をする傾向があります。

その地域の関わりを通すことで、地域の新しい事業を創出し、お茶畑の風景を取り戻します。

2. 調査報告

<調査スケジュール>

2月4日 静岡市源久様とメールにて最初のコンタクト

2月9日 静岡市萩原様・源久様と zoom にてオンライン MTG

2月15日 現地調査を実施

・静岡市葵区玉川地区の視察

・静岡市葵区有東木地区の視察

・関係者との面談

<調査結果の詳細>

- 2月4日 静岡市源久様とメールにて最初のコンタクト
以下の5点の希望を静岡市源久様にお伝えしました。
- ①調査候補日
2月15日～2月16日(15日で確定)
 - ②静岡市に来られる人数
2人(最終的に1人で確定)
 - ③現地案内の希望内容(場所やテーマ等)
ゲストハウス・民泊事業者
耕作放棄地と近い場所
 - ④調べたい事柄(資料や情報として当方が用意するもの)
ゲストハウス・民泊事業者の数
 - ⑤面談を望む地元関係者、団体等
ゲストハウス・民泊事業者様
地域おこし協力隊など地元の顔が広い方とお話が出来ればより発展的なお話出来る可能性があるかと思うので、その場合でも喜んで面談をさせていただければと思います。
- 2月9日 静岡市萩原様・源久様と zoom にてオンライン MTG
メールでお伝えした希望内容などを踏まえ現地調査の調整を行いました。2月15日に杉本1名が現地に訪問し、静岡市内の農地や集落の視察や現地関係者と面談を行うことになりました。
また、コロナウイルスに係る国の緊急事態宣言の期間延長や静岡県独自で感染拡大緊急警報を発令中の事情もあり、現地調査に慎重な判断の上での対応することになりました。
- 2月15日 現地調査を実施
今回は、「突然ホームステイの受け入れの話をすると驚く」「コロナで受け入れを行わない」という静岡市の萩原様の見解により、玉川地区と有東木地区の方とはお話しはせず調査を実施した。

・静岡市葵区玉川地区の視察

- ①玉川地区の概要、農地(茶畑、水田)の利用状況、集落把握
課題:お茶畑が綺麗な景観だったが、放棄して枝が伸びきったお茶も所々見られた。
特徴:集落全体で、外から来る人にお茶を出す月1イベント、民泊も

行なっているため、外からの受け入れの抵抗は少ないように思えた。

・静岡市葵区有東木地区の視察

①有東木地区の概要、農地(茶畑、わさび田)の利用状況、集落把握

課題：荒れ果てた放棄地の現状を垣間見た。

②農産物加工販売施設「うつろぎ」

特徴：普段外からの観光客も多く、接客も明るく良い雰囲気の空間だった。会話の中で、伝統文化を伝承できる人が少なくなっていることで、集落の課題として認識することが出来た。

・関係者との面談

静岡市の若手起業家の3名との面談を行う。

内2名が古民家で暮らしているとのことで、ホームステイ受け入れの検討をお話することになった。結論、家にいる時間が1日の1割程にしか満たないとのこと受け入れはしないことに決まった。しかし、静岡市内で受け入れの可能性を感じる地区のご提案をいただいた。



現地調査の様子（左上：玉川地区大沢集落の視察、右上：玉川地区の放棄地の視察、左下：有東木地区の放棄地の視察、右下：静岡市の若手起業家の3名との面談）

<考察>

現地を視察しての地域の状況や資源等を見る限り、玉川地区・有東木地区の二つの集落では、ホームステイの受け入れの可能性があると大いに感じた。一方で集落の方の直接のお考えまではうかがえなかったため、実際のニーズ把握を進める必要がある。

Familyinn では、全国に 25 件程のホストが登録しており、現在も新規登録が増えている。それには Familyinn のゲストの特徴やコロナの相性が良いというご説明をしている背景もある。

従って、現地の人と直接お話しする機会も設けることができれば、受け入れ先の確保もできるようになり、地域に関わる長期滞在のホームステイ利用者を増やすことができると考える。結果、ホームステイ利用者が地域おこしや地域の活性化の一端を担っていくことで新たな事業の創出につながることを期待できます。

3. 対象地域における今後の事業展開

引き続き、ホームステイの受け入れ先の可能性を探るため、玉川地区にある農家民宿に直接お問い合わせを行う。集落の状況・今後のスケジュールなど、現地の方とのお話を 2 月 28 日までに実行する。

3 月中 静岡市内での受け入れ先の件数やニーズ調査

ホームステイ希望者に対する静岡市内での長期滞在の希望調査

また、ホームステイ受け入れの進捗や確定した場合、静岡県静岡市に情報交換を実施

以上